

日本国の新たな羅針盤

Kuroda International Foundation

黒田 毅

既存の産業と技術、社会基盤は新しい未来を求めることを可能とする。先進国における自己は、第3諸国が自国開発を要求することに対して、未来を模索できる。

財政の悪化は、新たな行政計画を要求し、対米従属から、新しい外交指針における世界への参加を模索できる。

日米合同委員会からの国家統治体制から、独立と自立への移行は、新たな世界戦略における世界への参加を提案できる。

これらは新しい時代への参加を求められ、政治転換における新しい国家像を有する必要がある。これらは政治の新たなコンセンサスの整備と基軸外交方針における、見直しを要求される。

これらは現状の近隣外交の完全な方針転換とともに、自己理念を世界へ掲げ、現実への対応を要求される。

これらは西側諸国へ参加する唯一のアジア諸国として、第3の選択における世界への貢献を提案できる。

既存の技術産業基盤は新しい世界の現実に対して、その対等さを政治プレゼンスにおいて行う。

世界の現実の正しい理解は、正しい政治判断を与えるのである。これらは政治が自己プレゼンスの回復と独立と自立における新しい国家運営への移行を必要とされる。